

加東市小中一貫教育推進協議会 状況報告

第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・滝野地域小中一貫教育推進協議会（委員 13 名中 13 名参加） 日時：10 月 27 日（火）19：00 場所：市庁舎 201 号会議室 ・東条地域小中一貫教育推進協議会（委員 13 名中 11 名（代理含む）参加） 日時：10 月 28 日（水）19：00 場所：東条中学校図書室 ・社地域推小中一貫教育進協議会（委員 27 名中 23 名（代理含む）参加） 日時：10 月 30 日（金）19：00 場所：社中学校会議室 <p>議題：（1）加東市の小中一貫教育について （2）今後の活動について</p> <p>協議概要</p> <ul style="list-style-type: none"> *推進協議会設立の要旨を説明。 *加東市の小中一貫教育について「小中一貫教育研究会中間報告書」、「加東市のめざす小中一貫教育 A3 版」と「加東市公共施設の適正化に関する計画」により説明。 *小中一貫教育の有効性について不安を感じている委員もいる中、小中一貫教育の状況を知るの は先進校の現場を見ていただくのが最良と視察を提言、第 2 回は先進校視察となる。
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・3 地域合同小中一貫教育推進協議会「小中一貫教育先進校（一体型）視察」 第 1 行程：11 月 13 日（金）京都市南区 凌風学園 視察（19 名参加） 第 2 行程：11 月 16 日（月）京都市東山区 東山開晴館 視察（23 名参加） <p>視察概要</p> <ul style="list-style-type: none"> *視察にあたって、先進校への質問事項を委員から取りまとめて事前に送付し、視察当日に質問事項を盛り込んだ説明を受ける。 *視察参加委員は約 8 割と多数参加。 *両日とも視察終了時にアンケート実施。帰庁後視察状況についての意見交換会を開催。全員小中一貫教育の理解が深まったと回答する。
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・滝野地域小中一貫教育推進協議会 日時：12 月 3 日（木）19：00 場所：滝野中学校図書室（10 名参加） ・東条地域小中一貫教育推進協議会 日時：12 月 8 日（火）19：00 場所：東条中学校図書室（8 名（代理含む）参加） ・社地域小中一貫教育推進協議会 日時：12 月 9 日（水）19：00 場所：社中学校会議室（22 名参加） <p>議題：（1）先進校視察結果について …… 資料 1 - 2 （2）課題整理と対応方法について …… 資料 1 - 4 （3）今後の協議の予定について …… 資料 1 - 5、1 - 6</p> <p>協議概要</p> <ul style="list-style-type: none"> *視察結果を類型に整理し、課題等抽出してその対応策を検討。課題解決に向けた組織として、地域推進協議会委員が核となった小中一貫校開校準備委員会が必要となる。 *先行校においては、平成 28 年度に小中一貫校開校準備委員会を立ち上げるとなる。 *第 4 回は教育委員会が先行校を決定するに際しての参考となるよう、各地域推進協議会の意見・希望を聴取するとなる。

今後の予定

第 4 回小中一貫教育推進協議会 日時：1 月中旬 議題：地域の小中一貫校について

先進校視察結果について

参加者状況	凌風学園 (11/13)	東山開晴館 (11/16)	計
社地域	9人	10人	19人/27人 (70.4%)
滝野地域	6人	5人	11人/13人 (84.6%)
東条地域	4人	8人	12人/13人 (92.3%)
計	19人	23人	42人/53人 (79.2%)

【アンケート結果】

■小中一貫教育の理念や目指すものについての理解が

深まった（「少し」を含む。）	42人
変わらない	0人

■理解が深まった（参考になった）こと

分類	凌風学園 (11/13)	東山開晴館 (11/16)
保護者・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・開校に向け、意欲的な地域であること ・住民の協力を得ること 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開校と運営に向けた地域住民の組織づくり
児童・生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じたステップが必要（特に5年生） ・4、3、2制のメリット ・モデルとなる上級生がたくさんいることが重要 ・中学生が小学生の面倒をみるのが重要 ・しっかりやればメリットしかない ・特別支援学級の成果 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージに応じてしっかり区分されていたこと（中1ギャップではなく、もっと細かいギャップ） ・小中の交流がしっかりできていること
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の有利性は教育効果につながる（一体型・工夫） 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的をはっきりさせた校舎設計（一体型がベスト）
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間を意識した指導の大切さ ・小中教員の協力体制 ・学校の組織力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間を意識した指導の大切さ ・小中学校教員の交流促進
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校の良さがよくわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫で小と中が一緒に勉強する意義がよくわかった。 ・一貫教育は今後必要である。 ・小中一貫の取組みを課題解決の絶好の機会と捉えたい。

加東市小中一貫教育推進協議会での主な意見

	社地域	滝野地域	東条地域
視察前	<p>①加東市の小中一貫教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失敗した学校から学んで、いい方向に進んでいければいいと思う。 ・小中一貫校の取組成果の評価と検証を十分にする必要が有ると思う。 ・校区の再編もできるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、保護者全体が参画した学校づくりをしていこうとすることは素晴らしい。 ・新たな学校文化をつくるという考え方がいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は地域と一体となってつくっていかなければいけないということが大事である。 ・仲たがいになれば、地域のコミュニティがなくなってしまう気がするので、情報提供が必要である。 ・今、地域に十分な協力をしてもらっているが、今の小学校区単位の地域とのつながりが中学校区となることによって崩れてしまうのではないかという不安がある。
	<p>②今後の活動内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社地域と同じようなところの学校を視察したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視察先は加東市に近い状態が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加東市と条件の近いところ、問題点のあるところにもいきたい。
	<p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川地区の保護者が不安感を持っているということをしっかりわかっていただきたい。 ・現状で満足しているので、一貫校になることのメリットが感じられない。 ・9年間を見ずに5つの課題を解決すればうまくいけると言われても納得できない。 ・小中一貫校が始まって4・5年は子ども達に負担がかかるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の悪い影響が心配である。 ・失敗例をもっと知りたい。 ・保護者は、通学のことが一番不安に感じているのではないか。 ・ソフトは後から変えられるので、ハードをしっかりしていただきたい。 ・滝野地域はH40年に開校という話もあって、まだ実感がないというのが大方の感覚ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、運動会などで保育園同士は今、交流しているので、よい流れを小学校へ持って行ってほしい。 ・人数が減ることにより小中一貫教育をするということであれば、東条東小学校の保護者は子どもの人数に関して危機感を持っている家庭はいないと思うので、小中一貫教育をしないで小学校が一緒になればよいという人が多い。だから、小中一貫教育というものをもっと説明していかないといけない。 ・東条が一番先に開校して不安定な状態で自分の子どもがその中に置かれるのは嫌なところもある。 ・多くのことを決めていかなければいけないので、H33年を延ばしてもっと議論をしてほしいという思いもある。 ・子どもは他の友達と一緒に成長して行ってほしいと思っているが、西小学校の新入生は少数なので大丈夫かという不安しかない。東条からいち早く進めていただきたい。 ・今の子ども達の発達を考えると非常にすばらしい取組だと思う。自らの夢に挑む自立した子どもということであるが、どのようにして夢を描いていける力が養っていかれるかを今後、是非聞かせてほしい。 ・東小学校区と西小学校区の温度差を実感した。 ・一番初めというとお試し感があり、もし失敗したらという不安がある。場所についても、もう少し別の場所を検討してほしい。

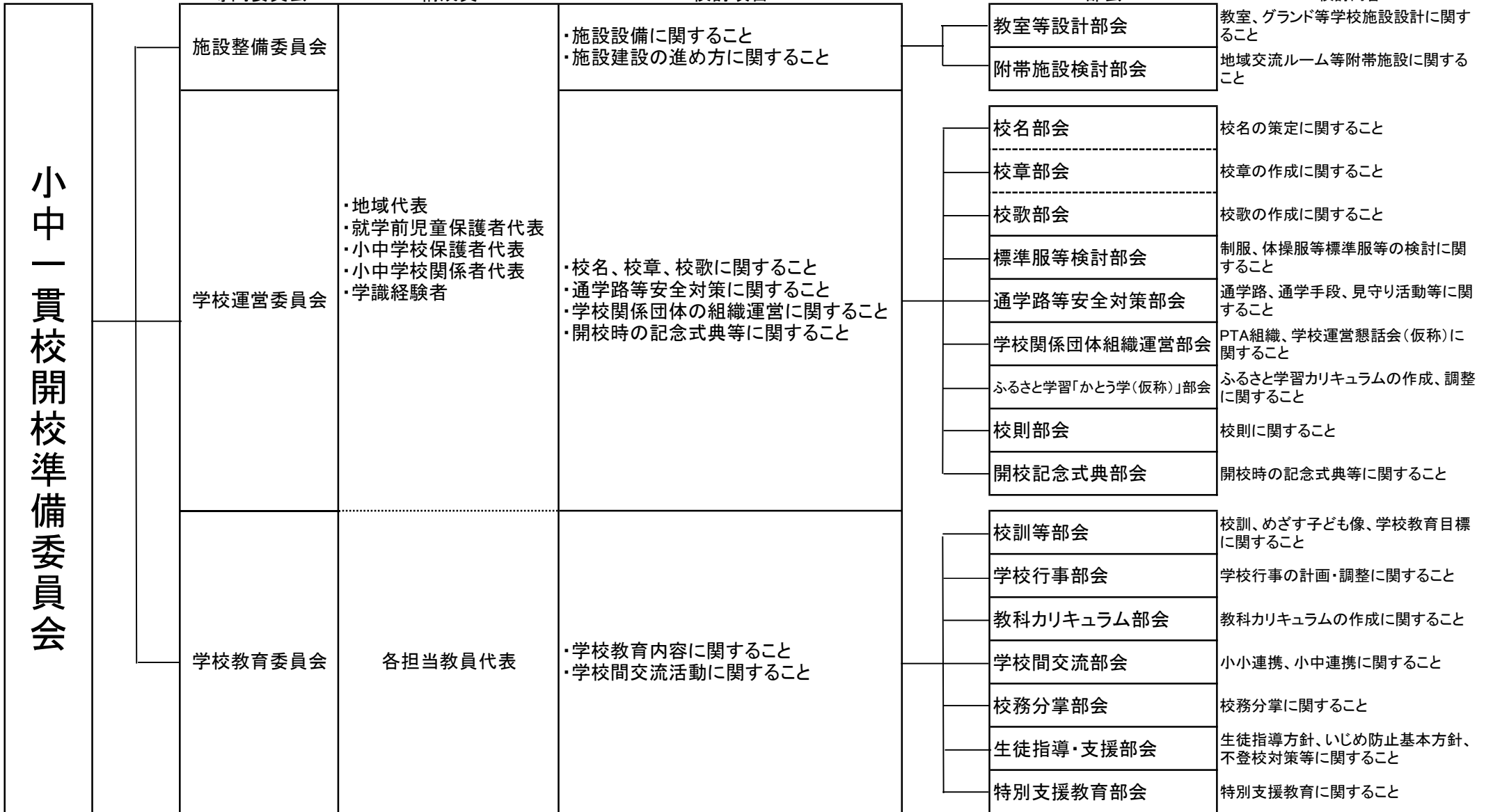
	社地域	滝野地域	東条地域
視察後	<p>①先進校視察結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫もされており、施設が素晴らしかった。 ・小中一貫教育をするために建てたので使い勝手がよく、子どもにとってよいと感じた。 ・併設型と比べると、やはり校舎一体型がよい。 ・子ども達が、いきいきしていた。 ・小学生と中学生がうまく学習しあって、縦のつながりができていた。 ・9年間を見据えて教育しており、一貫したポリシーを感じた。 ・本市は通学の問題があるので、今後、取り組んでいく必要がある。 ・学校の規模が大きい、小さいというのとは関係ないと感じた。 ・子どもにとって環境は大事であると思った。 ・教育目標をたて、H33に開校するという準備することが必要。 ・ハードは建てたら変えられないので重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開校と運営に向けた地域住民の組織づくりが大事である。 ・地域の協力が必要と感じた。 ・よく考えられて造られており、施設・設備がとてもよい。 ・施設は一体型とするべきである。 ・しっかり準備してやれば小中一貫校は成功すると感じた。 ・バス通学をしているところの様子も知りたいと思った。 ・荒れている様子はなく、よい環境であるという印象がある。 ・運動場などが少し狭いと感じたが、滝野地域であればよい環境を整えられるのではないかと思った。 ・校長のリーダーシップだけでなく、学校運営できるシステムをつくる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常から小学生と中学生が接することができるのがすばらしいと感じた。 ・都市部なので少し施設が小さいと思った。 ・教師の意見を取り入れた校舎で、地域に開放する場所もあり、協力体制ができていた。 ・地域の方のやる気が感じられた。 ・将来、子ども達の足かせにならないように、しっかりやっけていかなければいけない。 ・小中一貫教育は、デメリットがないと言われたのが印象的だった。
	<p>②課題の整理と対応方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会の構成員に若い人を入れてほしい。 ・小中一貫教育が子どもにとって良いのであれば、開校は早い方がよい。ただ、できるだけ地域の差異はないようにしたほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加東市はひとつと考えると、小中一貫校3校をできるかぎり早急に建設してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営委員会の構成員は、もう少し幅広いほうがよいのではないか。 ・説明会を最低でも年1回はする必要があるのではないか。 ・今やることは推進ではなく準備である。部会に広報部があればよいのではないか。 ・第1回の推進協議会を受けて、東西の小学校のPTA役員が集まった際に、「推進協議会等に学校評議員の参加が必要ではないか」、「教職員の賛否がわからない」、「用地問題（河川災害）、カリキュラムの問題がある」という意見があったことも知っておいていただきたい。 ・西小学校は新生児が5人程度になるようで、親としてはとても不安である。
	<p>③今後の協議の予定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・滝野地域も計画を具体化するために内容をつめていったほうがよいと思う。 ・通学の不安もあると思うので、場所を滝野中学校周辺としてシミュレーションしたものを示してほしい。 	

課題と対応方法について（先進地視察より）

分類	課題等	対応方法 ○：小中一貫校開校準備委員会 ●：教育委員会 □：学校（教職員）	開校準備委員会 における検討機 関等
保護者 ・ 地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開校に向けた地域検討組織の設置 ・ 学校単位での説明会や会合を行い、みんなで子どもの未来を第一に考えて進めていくこと ・ 学校の統合が地域衰退に繋がらないよう各地域で考えていくこと ・ 地域性の尊重 ・ 「こんな学校をつくる」という情報の開示、説明による理解と不安解消 	<ul style="list-style-type: none"> ○「開校準備委員会」（施設整備、学校運営、学校教育の検討）の設置 ○「学校運営懇話会（仮称）」の設置基準の作成 ○ふるさと学習「かとう学（仮称）」の指導計画作成 ○ふるさと学習「かとう学（仮称）」への参画 ●年間学校行事予定の調整 ●地域住民への理解、協力の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ※組織一覧（別紙） 学校運営委員会 学校運営委員会 学校運営委員会
児童・生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開校に向け、子どもが一緒になるための事前の交流活動 ・ 統合になじめない子どものフォロー ・ 現在行われている学校教育活動を精査し、子どもにとって良い活動は残すこと ・ 通学路、通学手段について 	<ul style="list-style-type: none"> □小小、小中間交流活動促進 ○校則の策定 ○生徒指導方針、学校いじめ防止基本方針の策定 □9年間の生徒指導・支援体制の構築 ○学校行事の計画・調整 □部活動指導検討 ○時程 ○通学路、通学手段の検討・調整 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営委員会 学校教育委員会 学校教育委員会 学校教育委員会 学校運営委員会
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの活動に配慮した設計（人数、発達段階、交流活動等） ・ 教員の意見を十分に反映した設計 ・ 保護者や地域住民にも配慮した設計 ・ 施設形態（一体型か併設型か）の早期決定 	<ul style="list-style-type: none"> ○●教職員の意見を十分に反映した施設設計 	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備委員会
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一刻も早い小中教員の連携 ・ リーダーシップのとれる管理職の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員配置計画の策定 ●「乗り入れ授業」指導計画の策定 ●教職員の意欲と資質能力の向上（説明会等） ●小中教員間の共通認識の醸成（研修、合同授業研究） ○□校務分掌の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育委員会
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ めざす一貫教育の説明（カリキュラム等） ・ 「将来の子ども」の視点で、新しいことに挑むことは重要。そのためには、今の学校教育を取捨選択することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○9年間のカリキュラム編成 □「家庭学習の手引き」作成 ●学校評価に係る指針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育委員会

加東市小中一貫校開校準備委員会組織(案)

平成27年12月3日現在



小中一貫校開校準備委員会等教育施策 行程表(案)

平成27年12月3日現在

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
小中一貫校開校準備委員会	施設整備委員会		施設面の検討 児童生徒の意見聴取(施設設					
	学校運営委員会		通学関係(通学路、通学手段)	ふるさと学習「なとう学(仮称)」カリキュラムの作成・調整	校名	校章 校歌		
	学校教育委員会		教育内容(教育課程、学校行事等) 小小連携・小中連携の計画・調整	説明会	校訓、めざす児童・生徒像、教育目標の検討	説明会	開校記念式典計画・調整	
市教委 学校 研究所員会					教員配置計画			
					教科カリキュラム等検討・作成			
					小中一貫教育試行(施設分離型)			
					小小・小中交流活動促進			
						生徒指導・支援方針の策定 特別支援教育の計画		
							校務分掌の検討	
								相互乗り入れ授業部分実施

小中一貫校開校